

北斗だより

愛媛県立松山北高等学校同窓会
〒790-0826 松山市文京町4-1
☎松山 (089) 925-2161
FAX (089) 927-2964

題字 藤岡 千賀子

No. **38**
平成29年2月10日

卒業生数 平成27年度末

学 校 名	卒業年月	男	女	計
北 予 中	M37.3~S24.3	4,396		4,396
城 北 高 女	S 2.3~S23.3		3,845	3,845
北予高 (併設中)	S23.3~S24.3	446		446
城北高 (併設中)	S23.3~S24.3		378	378
松 山 北 高	S25.3~H28.3	15,943	14,151	30,094
合 計		20,785	18,374	39,159



一ノ宮健郎 (2年) 日本ユース陸上競技選手権大会 800m 優勝 国体 800m3 位 (ゼッケン 38 番)

ご挨拶



会 長

関谷 勝嗣

(北高7回)

松山北高等学校は、あと四年で創立百二十周年を迎えます。同窓会役員会では、記念事業として、何をすべきか意見交換を行っています。同窓会の皆さんのご意見も是非、お聞かせ下さい。在校生の皆さんの要望も聞いた上で、レガシーになるような事をしたいと考えております。

さて、私も東京中心の生活から、故郷、松山中心の生活になって約九年程度になります。今も毎月、三度ばかり、上京するのですが、用件が終われば一刻も早く松山へ帰りたいとなります。

年を重ねた者から現在の東京を観ると「尖鋭化された過当競争社会」に見えます。東京は若くて気力体力充分な者が活躍する場所です。年を重ねた者は、やはり故郷が一番心癒される場所です。

大学在学中に田舎の故郷を持つている事に優越感を感じた事がありました。それは夏休みになると、地方出身者は故郷へ帰ります。東京生まれの東京育ちの学生は東京が故郷ですから、東京の同級生に

良く言われたものです。「おまえらは、のんびりとした田舎に帰って良いな」と。

若い時は今程強烈に故郷の良さを感じていませんでしたが、今は故郷、松山があつて幸せだと心底から思っています。私は四十年間、政治の世間に居りましたが今回のアメリカ大統領選挙の結果ほど驚きと恐ろしさと寂しさを感じた事はありません。

オバマ大統領もはつきりと、今やアメリカは世界の警察官ではありませんと発言していますが、アメリカは、世界の警察官を務める余力が無くなつて来た。トランプ氏が唱えた国内第一主義が失業者や不平不満分子の心を捉えた結果の勝利であろう。共和党内部の重鎮議員の支援もなく、マスコミの支援もなく勝利を得た事に、私は、ポピュリズムの恐ろしさを感じ、又、不人気ではあつても最後はやはり、クリントン氏の勝利と言われていた彼女は寂しさや虚しさを抱いた事であろう。ポピュリズムは恐ろしい。

「今年度の北高」



校長

村山 俊一郎

同窓生の皆様には、ご健勝でご活躍のことと存じます。また、日頃から本校の教育活動に対して、物心両面からのご支援に深く感謝申し上げます。さらに、第95回全国サッカー選手権大会出場に際しまして、多額の募金や様々なご支援をいただきありがとうございました。奇しくも2年前と同じ、千葉市のフクダ電子アリーナで、岩手県代表の遠野高校と二回戦を戦い、残念ながら0-2で敗れましたものの、松山北高校ここにありと、精一杯の力を発揮しました。バス9台で臨んだ応援団も、寒さを吹き飛ばす熱気あふれる応援を繰り広げ、吹奏楽部の心のこもった演奏とともに選手を励ましてくれました。選手・応援団ともに、

松山北高校の「文・武・心」を全国にアピールしてくれました。また、今年度の部活動では、陸上競技、水泳、卓球、剣道、サッカー、放送、棋道の各部が全国大会へ出場しました。そして、インターハイでは水泳男子100メートル自由形で7位、岩手国体では水泳少年男子100メートル自由形で5位、同50メートル自由形で8位、陸上競技少年男子800メートルで3位、少年女子1000メートル障害で3位、剣道少年女子団体2位(県選抜チーム5名の内、北高生2名)、陸上日本ジュニア・ユース選手権では男子800メートルで1位と見事な成績を収めてくれています。今年の秋に開催される「え

ひめ国体」では、北高生のさらなる活躍が期待されているところです。

さて、話は変わりますが、現在、北高では第二教棟の建て替えのため、プレハブ校舎も活用して学校生活を送っていますが、生徒たちは、少しの不便を感じながらも、プレハブ生活を楽しむかのように明るく活気にあふれた日々を送っています。

同窓生の皆さん、今年の秋には、「えひめ国体」の応援がてら、ぜひ、母校を訪ねていただければと思います。青春時代を過ごしたその場所では、後輩達が躍動しています。懐かしい時代を思い出しながら、生徒たちに声をかけてやっていただければ幸いです。

最後になりますが、今後とも、母校発展のため、ご支援・ご協力を

よろしく
お願いし
ます。



一一六周年

同窓会総会開催

平成28年6月11日(土)にひめぎんホール(県民文化会館)真珠の間で、総勢五百名程の参加者のもと、同窓会総会が、盛大に行われました。



支部だより

関東支部

高原 敬明
(北高29回)

2016年の北斗会活動についてご報告申し上げます。

●組織体制

宮下永二会長(北高18回)が北斗会運営方針として、①楽しく②ためになる③社会に役立つ会が掲げられました。これらを実現させるために、7つの分科会(広報・渉外・名簿管理・総会運営・若手北斗の会・会計・組織委員)が編成され、「私にできる何かをひとつ」を合言葉に、会員が積極的に会の運営に携わってまいりました。

その方針の一つにある社会に役立つことの一つとして、首都圏の大学に通学している北高卒業生を対象に就職に関するイベントを8月7日(日)に実施いたしました。

●就活体験座談会&講演(8月7日)

首都圏のマスコミや金融機関で働いている北高卒業生が



彦先輩から、故渡部喜十郎氏のご尽力により現在の関東支部の前身が築かれたとの貴重なお話の後、日本で唯一の書道パフォーマンスとして活躍中の友近やつくんのステージでは、歌いながら、「こころ」という文字が「響」に変身する書道パフォーマンスを披露していただいた

ときは会場が一体となり、最後は校歌を斉唱して御披露喜となりました。

ら就職体験報を、さらに私学に勤務されている卒業生からはキャリア指導現場の現状もお話いただきました。初の試みでしたが5名の現役生が参加され、熱心に先輩の話に耳を傾けていました。参加者からは、次回もぜひ参加したいとの声がありました。

●関東支部同窓会「北斗会」(10月1日)

関東支部同窓会「北斗会」が音楽ビヤブラザ「ライオン」銀座店で開催され、ここには首都圏の大学に通う現役生を含め10代から80代まで92名にご参加いただきました。議案審議の後、北高10回の若尾龍

中部支部

副支部長 井上 和彦
(北高33回)

第三十五回中部支部総会を

十一月二七日(日)に名古屋の中心地、栄の中日パレスで開催しました。

同窓会本部から来賓として関谷勝嗣会長、西岡和久副会長、また母校からは村山俊一郎校長、事務局の鎌田教諭、それに松山から支部特別会員の眞鍋八洲雄顧問(八回)に出席いただきました。

支部会員は北高一回の平松崇徳さんを筆頭に、五十七回の内田乃利旭さんが出席し、総勢二十二名でした。

総会の部では田中寿美(十五回)支部長が挨拶で愛知と愛媛が近年「愛」つながりでもとも交流が進んでいると言及し、支部活動でのさらなる情報発信の必要性を述べました。続いて石橋宏昭(十四回)幹事が「二十八年度活動報告と二十九年の方針」について、以前から会員の関心向上を目的に、暑中見舞いで総会開催日の周知、総会案内時に返信はがきの近況に添えて一筆啓上と、繋がりや関心向上の働きかけを継続中、結果本年度も二名から初出席の返信を頂いた。今後、更に、若い世代との連携を図る取り組みを加えて活動していくと

説明しました。その後、本年度から新副支部長として活動の富田英美(三十四回)さんの紹介と信任及び挨拶が行われました。

懇親会は校友歌「味酒ヶ原」の斉唱で始まり、富士田公一支部顧問(十三回)の発声により乾杯を行い、食事・歓談に移りました。

関谷会長からは中部支部の総会は毎年楽しみにされているという挨拶をいただき、また村山俊一郎校長からは現在の北高の部活動の活躍や進学状況の説明に加え、文武両道の魅力ある高校であり続けていると報告されました。

出席者からは一人ひとり近況、趣味などについて自己紹介が行われ、初出席の白石拓也(四十五回)さんは、愛媛県庁名古屋

駐在として赴任し、故郷愛媛の情報発信に携わっているの支部でも応援したいと思いました。

最後には校歌「澄みたる瞳」と応援歌を斉唱し、眞鍋八洲雄顧問による「フレイフレイ北高」のエールで総会を締めくくりました。その後、有志によるカラオケで更に交流を深めました。

次回支部総会は十一月二六日(日)に開催予定です。



近畿支部

津田 元裕
(北高7回)

平成28年度同窓会近畿支部総会は、6月25日(土)大阪市中心部のホテル日航大阪で、同窓会本部から関谷勝嗣会長、住田知秀副会長、母校から村山俊一郎校長、井門盛徳先生を迎えて開催されました。

総会で、司会は富永勝久（北高14回）。開会の辞のあと、司会よりご来賓の方々の紹介を行いました。清水孝雄近畿支部会長（北高14回）の挨拶ののち、議案の審議に入り、富永勝久書記（北高14回）から事業報告、西本司会計（北高10回）から会計報告、岡本徹監事（北高18回）から監査報告をし、了承されました。

本年は役員改正年に当たり、書記の富永勝久が副会長兼、会計に樋村光彦（北高14回）が新任、福家敏明（北高8回）、赤城宏幸（北高14回）は、副会長を退任し相談役に



就きました。

続く懇親会で、関谷同窓会長は、「高齢者は目的を持っていることが一番。来年も同窓会に出てくるぞという信念で元気に過ごし、来年もまた、集まりましょう」と挨拶。

村山校長先生の挨拶では、「北高の卒業生は、4万人にもなる。先人の築いた伝統、校風を生かして発展し、今がある。北高は、文・武・心が、校訓で、生徒のバランスがよく、進学者を多数送り出すとともに、県総体や文化活動の部活で成績を上げて、大いに

活躍している」と話されました。

住田同窓会副会長の発声による乾杯で会食・歓談に入りました。懇親会途中では、席を廻られる村山校長先生や井門先生から母校の具体的な現状を伺いました。

宴たけなわのところで、恒例の落語家林家染太さん（北高45回）の余興に、拍手喝さいと一段と盛り上がりま

フィナーレは、校歌、校友歌、応援歌を、真鍋顧問（北高8回）のエールも入り、全員で声高らかに歌い、楽しい3時間の後、西原晁支部副会長（北高3回）の中締めで、お開きとなりました。

次回は、平成29年6月を予定しております。

写真は、いつも参加者の3割を占める北高8回の皆さんに敬意を表し、清水支部会長と一緒に記念写真

九州支部

影浦三弘
(北高23回)

にしました。

昨年の二月頃、初の九州地区の同窓会開催とのご案内を頂き、三月二十日は、博多に

かけつけました。二十六歳で松山から東京へ、そして八年後に佐世保に来て妻の実家で働きながら三十年目を迎えるうとしています。今や九州の人となつてしまいました。両親も亡くなり、帰省することもなく、故郷松山という意識も遠くなつていた矢先のご案内で、正直の所迷ひましたが、出席した理由の一つは同期の人間と会えるかもしれないということ。もう一

つの理由は、実は、私は佐世保で愛媛県人会に入会しており、佐世保に同窓生の方がおられるかもしれない、その時は、是非県人会に入って頂く、うとの思いでした。だから、ある意味期待しての参加でしたが蓋を開けてみると、地元福岡以外の参加者は私一人で

した。福岡から十二人、長崎から一人、計十三名の参加者でした。

しかし、同期でクラスも同じだった千守嘉隆君と会えたこと、私が入部していたボー部のはるかに年の離れた先輩とお会いすることができ、懐かしい話に花が咲いたことなど、思いもよらぬ嬉しい出会いがありました。

酒も入り、私があればこれ程極的に話し込んでいたのが関谷先生の目にとまり、おそろくは、この影浦という男を九州地区の窓口にと思われた様で、軽佻浮薄な御調子者は、それを簡単に引き受けたというのが、こうして私がペンを執ることになったいきさつです。

今後は井門様と連絡をとり合いながら、九州地区の充実発展のため頑張る所存です。どうか宜しくお願いします。

佐世保は良い所です。九十九島の景観は抜群です。ハウステンボスも近くにあります。かつまた、基地の街でもあります。海上保安庁の船海上、陸上自衛隊も、今、緊迫の日々です。機会がありましたら、どうぞ佐世保へ、そして九州へおこし下さい。

卒業50年記念

歲月は流れても
変わらぬ絆

長本 俊介
(北高18回)

春とは名ばかりの寒さの残る三月一日、母校松山北高の第六十七回卒業証書授与式に同期生約百名と共に出席させて頂きました。受付では在校生の心からのお接待を受け、式典では、全校生徒の一条乱れぬきびきびした動きに心洗われました。また、女生徒の涙を流しながらの思いのこもった答辞には深い感銘を受けました。だれもが「これぞまさに北高の卒業式」という思いを強くしたと思います。

感動的な卒業式に出席し、自分たちの高校時代が鮮やかによみがえってきました。私たち十八期生が入学したのは、昭和三十九年、この年から校区制の見直しが行われ、

北高も従来と異なり沢山の学校から入学できるようになりました。また、我々団塊世代の入学のため、入学定員も六百六十名という開校以来最大となり、一クラス五十五名で教室はぎゅうぎゅう詰め状態でした。田舎の小さな中学校出身の私にとっては、圧倒されることばかりで、不安がいっぱいでしたが、担任の先生方の温かい励ましの言葉のおかげで徐々に生活にも慣れ、やがてかけがえのない友人とも出会い、充実した高校生活三年間を送ることができました。

一年時には東京五輪が開催され、講堂(今の第二体育館)のテレビでマラソン観戦に胸を熱くしました。二年時には県下一の広さを誇る体育館が落成し、その新体育館の中で長髪問題について長い時間議論したことが思い出されます。

卒業式の午後からは会場を変え、「卒業五十周年記念同期会」を開催しました。四人

の恩師の先生方をお迎えし、時の経つのを忘れて、いつまでも懐かしく語り合いました。

今回のこのような素晴らしい機会を与えていただいた母校への感謝とともに今後の益々のご発展を祈念いたします。「歲月は流れても変わらぬ絆」を大切にしながら十八期生一同、これらの人生を生き抜いていきたいと思っております。



愛媛トヨタ自動車株式会社

EHIME TOYOTA MOTORS CORPORATION

□本社・本店 〒790-0066 松山市宮田町109-1
TEL089-941-5171 FAX089-946-3277

**TOYOTA
L&F**

トヨタL&F西四国株式会社

□本社 〒791-8057 松山市大可賀3丁目150-20
TEL 089-967-6555 FAX 089-967-6444

えばらインドアテニス

(人工芝砂入りコート4面)

岡田成基(北中45回)

TEL(089)963-1965

公認会計士・税理士・中小企業診断士

武士末会計事務所

武士末 研郎(北高16回)

松山市南江戸三丁目2-25 TEL 925-0120

同窓生のひろば

私達『松山北高』 卒業第3期生

村上 健一郎
(北高3回)

一九五〇年高校生の学校改革が実施され、当地松山では主として松山城を中心にして北部地域に在住する高校生は新しい「松山北高等学校」へ入学となった。旧制高校の松山北校、城北高女、松山東校、松山南校の四高校の統合であった。私達北高卒業の三期生の二年生の時に北校入学、新しい仲間、そして始めての男女共学、「男女席を同じうせず」の時代に育った我々世代にとってはある種の戸惑いがあったのを思い出す。時は経過し昭和五十四年「松山北高校八十周年記念」が母校で盛大に開催された。私達北校卒業三期生が順番だったのか代表して岡部哲君が祝辞を述べた。この時であったが、参加した北校卒業の三期生の中から多くの友人がこれから毎年「北三会」を開こうの声が高まり、これがスタートとなった。以来今日まで、同

期の中尾須摩子さんが世話役代表となつて今年で三十六回の開催を数えている。どの各期も同じだと思ふが同期会の集いは実に楽しいもので、例え顔を合わせただけでも、直接会話をせずとも学生時代からの思い出もあつて懐かしさを覚えるものだ。同期生の中には交通事故などで会場まで車で家族に送られての出席者も二人いて、今年は約三十名の集いであつた。私は社会人となつてから「安



この写真は、松山北校同窓会に出席した「北三会」の皆さんです

人生を ふりかえつて

千守 隆
(北高13回)

松山北高1961年に卒業してから50数年の変動の日本を見て来ました。「残軀は天の赦す所、樂しまずして是を如何にせん」政宗の詩、まさに私の心境です。
若い頃出会つたことば、「理想は高く、姿勢は低く、大地に足をふんまえて、ゆつくりとがつちりと、前へ前へと進も

岡生篤氏「陽明学者、思想家、教育者」の名言集の中に「幸福な人生とは、その人が一生の間にどれだけ幸せだという感情を持つことが出来るか」だと知りました。

松山北校三期生の皆さんも幸福を感じる日が多くあつてほしい。最後になつたがいつまでもお元気で、そして北三会の開催がずっと継続することを祈りたい。

そして、松山北高校の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

う。」六法全書で著名な法学者末川博先生の教えであり、「未来を信じ未来に生きる」それが若者である。今の若者にこそ、そうあつて欲しい言葉です。法学部ではありませんでしたが、その先生の講義、講演会を聞くのと、今という「追っかけ」でした。

迷える多感な青春時代に、その言葉を、人生のモットーに決意したのもこの頃でした。

高校時代は3年間ひたすらテニスに没頭し、苦しい練習の連続であり、その間は今日辞めよう明日辞めようと思つたこともありましたが、

社会に出れば、山あり谷あり、特に苦境にたたされた時には、その時の耐え抜いた部活、励まされた先生の言葉を思い出し、前を向いてしっかりと時を過ごしてきたつもりです。

若いときに人生の考え方、目標を持つことは、よりよき生き方の励みになるものです。

40歳過ぎては、高校、大学の同窓活動にも、積極的にかかわつてきました。年齢差に関係なく同窓生に接することができるといふことは、あらゆる職業、立場をこえて人生を語り、仕事上有益なアドバイスを授かり、

(株)大野設計

代表取締役会長 大野 正勝 (北高8回)
代表取締役社長 大野 仁 (北高44回)

臨海建設株式会社

松山市古三津6-6-30 TEL(089)951-2332



スポーツ用品全般

有限会社 **インダスポーツ**

石田 治 (北高22回)

松山市清水町2丁目20-15 TEL 927-3300 FAX 925-6210



愛媛信用金庫

〒790-0002 愛媛県松山市二番町4丁目2番地11
TEL.089-946-1111 (代)
卒業生 有志

忌たんのない知恵や、教えを頂くことでもあります。参加する人達は、明るく、何事にもポジティブな人が多く見受けられ、楽しいひと時の場合は、明日への糧になります。

初対面でも打ち解け、昔ながらの友と思えるのも、「同窓のよしみ」同窓会ならではのことでと思います。

皆さん同窓会にこそって参加し、楽しい夕べを過ごされてはいかがでしょうか!!

雑感

野間 淳一郎
(北高23回)

私達が北高に在籍したのは創立七十年の周年行事が行われた時期に当たります。日本国内では、大阪で万国博覧会が開催され、また札幌で冬季オリンピックが開かれるなど、まさに「世界」を身近に意識するイベントが続いた頃です。主義・主張は別として、有名な「あさま山荘事件」もこの時代に起こりました。

当時の北高には(にも?)かなり個性的な先生方が多く、今

振り返ると何やら野武士の雰囲気や、飄々とした軍団に囲まれて日々の生活を送ったような、そんな思い出が湧いてきます。とにかく、楽しい高校生活でした。あれから四十五年、三年前には同期の還暦同窓会も開催しました。そして思うのは、今の時代、この年齢は隠居を決め込むには早すぎるし、かと言って現役でバリバリやるには定年の壁が二度歩みを止めなさいや」とばかりに立ち塞がる。まことに中途半端な年頃なのであります。

その中途半端真つ盛りに合わせて、昨年より、帰宅後に一時間ほど「歩く」事を日課にしています。自宅が北高のすぐ近くにあり、散歩コースの最後は北高グラウンドの塀沿いの道です。放課後の運動部の練習風景を覗き込みながら。いいものです。一つの事に真剣に取り組む姿を目にするのは。しかも、それが若者なら尚更。辺りには懸命に努力を重ねる緊張感が空気に漂っているようです。基礎体力・反復練習・実践練習・反省と工夫。時代は変わっても、根本にある流れは変わらなものです。

今、学校ではアクティブ・

ラーニングという名の指導が求められています。児童や生徒が積極的に学習に取り組み、学んだことを発信する力を身に付けさせよ、という事です。また、大学入試が間もなく大きな変革を果たします。

時代に逆行するのは正しくない事でしょうが、北高ならではの根本にある流れを大切にしたい教育活動を期待しております。「北高、頑張つてよ。」同窓生には伝えておきますので。

母校に思う

相原 豊樹
(北高33回)

このたび「北斗だより」の原稿依頼をいただき、依頼の文章を拝見すると、同窓会会報「北斗だより」は、昭和五十四年に創刊されたとのこと。

その昭和五十四年は、私たち松山北高三十三期生が入学した年です。狭き門を目指して受験勉強に励み、母とともに合格発



表に行った時のことが思い出されます。

校訓「文・武・心」の下、本業である学業は今一つでしたが、友と友情を育み、部活動に励んだ日々。この原稿を書くにあたり、何年かぶりに卒業アルバムを開くと、懐かしい、高校生の顔をした同級生と出会うことができました。ページを開くことに思い出がよみがえってきます。私たち三十三期は、卒業二十周年、三十周年の同期会を行いました。やはりそれぞれ年齢を重ね、会場でお会いした同級

大野建設株式会社

取締役会長 大野 定道 (北高1回)
松山市緑町2丁目12-2 TEL921-1836

有限会社

写真 & ビデオ

まっばら

代表取締役 松原 利彦・広子 (北高19回)
松山市大街道3丁目(ロープウェイ街) TEL 933-2848



夢、旅、思い出づくり。観光庁長官登録(1種)旅行業第613号
株式会社 日本交通社

浜野勝久(北高14回) 大西 洋(北高34回) 光田秀之(北高42回)
〒790-0878 松山市勝山町1-18-10(日本交通社ビル) (089)946-3911代

四国建販

CAT®

生は、皆いい顔になっていました。アルバムの中では高校生の私たちが躍動し、修学旅行で友と楽しそうに写真に納まっています。

在校時、サッカー部に所属していた私は、レギュラーメンバーにはなれませんでした。お世辞にも広いとは言えないグラウンドで、野球・ラグビー・ハンドボール部などと縄張り争い、場所を確保して練習をしていました。

持久力や下半身を強化するため、東雲神社の階段を駆け上がり、天守までランニングをしたこともありました。

後輩であるサッカー部の皆さん、選手権県大会優勝おめでとう。ライバルである松工との決勝は、見ていて手に汗を握る激闘でした。そんな中、三年生が二得点を挙げ試合を制したことは、サッカーへの情熱と、総体を最後に引退した他の3年生の思いが後押しとなったものと思います。これからも愛媛県の高校サッカーを牽引していくチームとして、『文・武・心』の心をもって励んでください。OBとして応援し続けます。

ある学生の すきなこと

片岡 伸二郎
(北高43回)

先日、5時間リレーマラソンに参加しました。陸上部だった仲間とその子どもたち、総勢10名です。おっさんからわが子へ、お姉さんから仲間へ。タスキをつないでゴールしました。ランナーを待っているあいだに過去、現在、未来いろんな話をし



ました。走っても楽しいし、走らなくても愉快。だって仲間がいるから。彼女・彼らも家では夫・妻であり、父・母です。会社では職責を任されています。今も昔も最高の仲間です。

在校当時、わたしは先生の脱線話を聞くことが好きでした。現代国語の先生は、京都ですごした学生時代の話をしてくれました。喫茶店、流れる音楽、コーヒ、タバコの煙、そして友人。情景をかたる表情は温和でした。大人になりたいと思う

話でした。

ある体育の先生は、「おれはどう答えていいか迷った」と悩んでいた当時の心境をあらわしました。それは病気がちだった友人が「きみは人生で何人の人に会うだろうか、何のために生きるのだろうか」と問われたことばでした。友人の苦しみに向きあい、共に進むことを感じました。

友人のことを語るとき、自然と笑顔になる。

応援してくれている彼や彼女のことを思うとき、真剣なまなざしになる。

人の喜びを、わが喜びのことと思う友人がいる。本当にありがたいと思います。

同窓生のみなさんへお聞きします。

今、あなたは好きなこと、していますか？

昔、好きだったこと、やり残していませんか？

北高同窓生・在校生、みなさまの人生が豊かで彩りにあふれたものでありますように。

Never too late!

好きなことをするのに、遅すぎることはない。

長谷川歯科医院

長谷川 章(北高15回)

松山市美沢2丁目6-23 TEL・FAX 925-7600

藤岡書道教室

藤岡 抱玉(千賀子)(北高10回)

松山教室 TEL 941-2524

松前教室 TEL 984-1624

書界社会長・青雲書道院主宰

吉 田 青 雲(恭三)(北高15回)

TEL 089-925-0979

四国ガス株式会社

相談役 川上 昭一(北高10回)

今治市南大門町2丁目2-4 TEL (0898) 32-4500

北高との出会い

沖田 準也
(北高53回)

高校二年生のとき、母校は100周年を迎えた。午後が生憎の雨天となったが、一度動き始めた記念体育祭が止まるはずもなく、雨天強行。あの体育祭は鮮明に残る記憶の一つである。

「お前は北高に行け。」中学3年の体育の授業のあと、担任でも無い先生にそう言われ、既に市内の実業高校の受験を考えていた私だが、見学にすら行っていない松山北高校の受験を決めた。倍率は群を抜いて高く、受験者のうち200人が落ちたと聞く。合格発表では友人に番号を先に見つけられたため感動は薄かったが、その後多くの思い出を作ることとなる北高への入学が決まった。思い返すと記憶は山ほどあるのに、入学直後に順を意識して走った道を無意識に走るようになる頃には進路を決める時期が来ていた。そこで自分の道を決めるきっかけになったのもやはり、一人の師との出会いであった。

ある人との出会いのおかげで

北高に入学し、そこで出会えた人のおかげで今の自分がいる。歩む予定の道ではなかったが、不思議とその道が、すがすがしいほどに自分らしく思う。聡明でなくとも、華麗でなくともやり遂げる、質実剛健・文武心三

道三立、今でも、いや、むしろ今のほうがその校風が好きだと実感する。県内で唯一タイトルを持つ二つの校歌の一つ「澄みたる瞳」は今でも忘れられない。松山北高校を母校とすることができ、そしてこの職に就くことができたことに心から感謝したい。

「北斗に集いし一世紀」から「新たな一歩」を踏み出してから約15年が過ぎた。社会の変化の中でたくましく活躍し続ける様子を見聞きすると、やはり嬉しい。しかし、他校での勤務で、自分が関わる子ども達の為にも北高生にだけは絶対に負けないよう指導に全力を注ぐことを自身の義務と感じている。そして、それを以って我が母校へのエールに代え、ますますの発展を期待したい。

実習生として訪れた母校

高智 五輝
(北高63回)

放課後の運動部から聞こえる勇ましいかけ声。廊下からは吹奏楽部の美しい音色。あの頃と変わらない北高がありました。

5月の中旬から3週間、教育実習生として北高の教壇に立ちました。5年ぶりに訪れた母校は懐かしくもありながら、つい最近まで通っていたような空気に包まれました。5年も経てば高校時代教えて下さった先生方の多くは異動されていたことが、中には今でも残っておられる先生もあり当時の思い出話に花が咲きました。この場を借りて、実習に携わって下さった先生方に今一度感謝します。

また、実習期間中には県総体も開催され大会を控えた生徒の顔はいつになく真剣な表情をしていました。7時間目に行われた県総体壮行会では応援歌が全校生徒で歌われた瞬間、当時の部活での記憶が鮮明に蘇りました。振り返ると、放課後の限られた時間での猛練習や、学校周りを走り込んだ事が思い出され

ます。部活で培った精神力や体力、様々な出会いは今でも私を育ててくれています。各部活の行進している生徒の目もそれぞれの思いを物語っていました。

教育実習生ではあるが、教師という立場で北高の伝統を感じることができた3週間でした。先生方の生徒に対する愛情、持てる力を振り絞って文武両道に努めようとする生徒達の姿勢。教壇に立ち授業を教える事よりも、学ぶ事の方が多く、これから進んでいく将来への大きな糧となりました。私は春から大学院に進学し、より専門性を高め現場に還元したいと思っています。

最後になりましたが、北高で学んだ3年間、実習を行った3週間を通して、一歩でも多く成長できるよう日々精進していきます。



松山北高等学校同窓会

顧問 眞鍋 八洲雄 (北高8回)

松山北高等学校
第54回卒業生

松山北高等学校同窓会顧問

八塚 茂 敏

I'll アイル太平洋生コン(株)

松山市南江戸二丁目660番地1
TEL089-984-3663

活躍する同窓生

北斗塾講演会

NPO法人
ワークライフ・コラボ

堀田 真奈
(北高40回)

「自分の未来をデザインしよう」

私はワークライフバランスや女性が活躍する職場作りの支援をする会社の代表をしています。ワークライフバランスとは、一般的に仕事と生活の両立と言いますが、私たちは「仕事も生活も楽しもう!」と伝えて活動しています。仕事は生活の一部。一方を優先して他方をないがしろにするような相反する関係ではありません。北高の校訓も 文・武・心。「文」と「武」は両輪で、それを支えるのは他者を思いやる人の心。それに気づいたのは、社会人になって働くことに悩んでからでした。

私は同じ北高を卒業した夫と27歳で結婚し、現在2人の子どもを育てながら働いてい

ます。

私の高校・大学時代は一言で言えば「他責」でした。親や誰かがこれが良いと言ったことが判断基準、嫌なことがあれば何かの、誰かのせい。楽しかったけれど何か足りないと感じていたのは自分がどうしたいか、ということを考えてたり、自分の意見を持たなかったからかもしれません。働くことにも夢がなく、大学時代までは専業主婦希望でした。

しかし、大学を出て就職した旅行会社での営業や添乗員の仕事で、働く楽しさを学びました。そのうちに、結婚をし、転職をし、子どもを授かりました。その都度、世の中の「こうあるべき」という価値観にぶつかりました。必然的に自分がどうしたいか、に向き合うことになりました。

仕事で、中高大の学生に「働くこと」についてお話をする機会がありますが、必ずお伝えしていることがあります。子どもの頃は誰かに守られ、与

えられることが当たり前。でも社会人になると、誰かを守り、支える側になります。それが「働く」ということでそれは人生を豊かで充実したものにしてくれます。

「働く」を今からデザインしてみてください。そのためにはぜひ「言われたから」ではなく、自分の意見を持ち、自分がやってみたいことをやってみましょう。

責任

日野 剛
(北高43回)

保健体育科教員として北高に赴任して、12年が過ぎた。強烈なオーラを放ち、後の人生に多大な影響を与えていただいた剣道部の恩師。苦楽をともにした気心知れた友人。体育大会を始めとする学校行事。これら高校時代のかげがえのない出会いや経験が、私を教職への道に導いてくれた。自分を育ててくれた母校で教鞭を執ることだけでも教員にとって大変幸せなことであるが、長きに渡り「澄み

た。自分

る瞳」を持つ生徒とともに日々の生活ができる環境に深く感謝している。

さて、干支も一回りすれば、自分の置かれる環境も随分と変化してきた。着任当時は若かった私も、40歳を過ぎ、校内で置かれる立場も変わり、責任も増えてきたような気がする。また、在校生の中には、同級生や先輩・後輩の子どもが入学することも珍しくなくなった。母校に子どもを入学させる家庭環境をうらやましく感じながらも、私の高校時代のことを知る保護者の登壇に、教員としての顔と高校時代の顔とが一気に混在してしまふ。なんともむずがゆい瞬間である。これからはもっとこのような場面が増えるだろうと予測している。高校時代よりもはるかに成長した、教員としての顔を見せられるよう精進したいと考えている。

逆に、ずっと変化しないこともある。それは北高の「質実剛健」「清楚」な校風である。「文・武・心」の校訓の下、在校生は先に挙げた校風がさらなる高みへと到達するよう日々努力している。情報化が

急激に進んだ現代社会の中で、人は何かに追われて生活している。北高生も例外でなく、私たちの高校時代よりもはるかに忙しい日々を過ごしている。しかし、しっかりと自分の理想を見つめ、自己実現のため、高いレベルの学習活動・部活動などに励んでいる。多くの「澄みたる瞳」が輝くために、北高の教員として、そして、先輩として私の責任は重いと痛感している。これからも頑張りたい。

松山北高等学校同窓会役員

平成28年度

顧問	岡田 成基 北中44回
顧問	数村サガノ(城北21回)
顧問	八塚 茂敏(併中2回)
顧問	眞鍋八洲雄(北高8回)
顧問	関谷 勝嗣(北高7回)
顧問	幹夫(北高15回)
顧問	西岡 和久(北高17回)
顧問	住田 知秀(北高20回)
顧問	遠藤 美武(北高20回)
顧問	白石 恒二(北高22回)
顧問	山内 俊一(北高24回)
顧問	山本 司(北高27回)
顧問	八石 玉秀(北高28回)
顧問	福田 秋秀(北高10回)
顧問	清水 孝雄(北高14回)
顧問	寿美(北高15回)
顧問	得子(北高26回)
顧問	成川 献次(北高29回)
顧問	立花 祐二(北高34回)

特集Ⅰ

宇宙飛行士の父となつて

大西 宏一 (北高16回)

息子の卓哉から宇宙飛行士の選抜試験を受けるので、親の推薦状が必要で作成してほしいと依頼されたのは、2008年6月の次女の結婚式のことでした。当時卓哉はANAのパイロットで自宅に帰ってくることも少なかつたことから、この機会を捉えての依頼でした。

この時私は、卓哉が宇宙飛行士になったかったのだと初めて知りました。また親の推薦状というのは親の同意書のことだと理解しました。

試験は翌年3月まで行われ、最終合格した旨息子から連絡があり、翌日にマスコミへの発表、記者会見などがありました。それから実際に宇宙ステーション(ISS)に行くまで満7年、この間息子はヒューストンのNASAで訓練していましたが、なかなか厳しい訓練で、特にスペースシャトルの引退後、ISSに行っているのはロシアのソユーズだったので、ロシア語の勉強が一番大変だったよう

です。

打ち上げはカザフスタンのバイコヌール基地から行われるのですが、都合で私と妻は現地には行けず、親族では、本人の嫁と子供2人、私の長女(卓哉の姉)夫婦と子供1人の計6人が現地に行きました。私たち夫婦や親戚、友人などは自宅のテレビで比較的冷静に見守っていました。息子が選んだ道だからという思いが根底にあり、万が一の場合でも覚悟はできているだろうと思っていたからです。地上に帰還するときの方がやや緊張しましたが、無事帰還できたときはやつと宇宙飛行士になったという思いでほつとしました。

JAXAには宇宙飛行士の家族支援チームというのがあり、いろんなサポートをしてくれました。打ち上げや帰還の時の観映の準備や時刻の連絡、卓哉がISS滞在時に私の自宅とを双方向の映像で対話することなどです。

最後に息子の卓哉が宇宙

飛行士に選ばれて以来、北高の同期の友人がいろんな面で応援していただき本当にありがたいです。ごさいました。改めて紙面を借りてお礼申し上げます。

特集Ⅱ

祝 岩手国体剣道女子団体準優勝

大田 晋輔 (北高43回)

毎年、私達、松山北高剣道部の1年は1月2日の「稽古初め」から始まります。今年もまた例年と同様に、稽古を

楽しむ人や、顧問の先生に近況報告に来た人、また、先輩や後輩に顔を見せに来た人と目的はそれぞれですが、還暦を迎えられる大先輩から、まだ卒業して間もない大学生まで、たくさんOB、OGの方が集まり、格技場で「稽古初め」を無事終えることが出来ました。

夜は「OB会新年会」を開催しましたが、稽古参加者に宴会部隊も合流して道場とは



違った雰囲気の中、近況報告や昔話に花咲かせ、楽しい時間を過ごしました。

私達OB会が現在注目しているのは、北高女子剣道部の目覚ましい活躍です。去年10月に開催された岩手国体では、近藤沙希さん(3年)と渡邊茜さん(1年)の2名が主力として大活躍し、チームを準優勝に導き、愛媛の剣道の発展に大いに貢献しました。

渡邊さんは今年の愛媛国体でも主



力メンバーとして活躍が期待されていますが、渡邊さんのお父さんと、現在北高剣道部の顧問の日野先生、そして私は北高剣道部の同期であり、今も変わらずOB会や剣道を通して交流をしています。

このような活動や交流が出来るのも、北高剣道部には伝統あるOB会が存続しているからです。私立の高校とは違い顧問の先生が定期的に変わる公立高校の部活動では全OBが交流する機会があるということは極めて稀であり、とても貴重だと思います。

こうした場に関われることを今まで築き上げてくださった諸先輩方に感謝するとともに、後輩へ引き継いでいくことの使命感を感じています。

これからも、現役生をサポートし、魅力ある北高剣道部であり続けられる様、北高剣道部とOB会を盛り上げていきたいと思っています。

平成27年度末大学入試結果

区分	大 学				準 大 学	短 大				専修 各種 学校	合計
	国立	公立	私立	計		国立	公立	私立	計		
新卒	127	57	749	933	0	0	0	13	13	14	960
旧卒	13	1	48	62	0	0	0	1	1	0	63
計	140	58	797	995	0	0	0	14	14	14	1023

教職員異動状況報告

★転入の部

職名	教科等	氏名	前任校等
校長	保健体育	村山 俊一郎	県教育委員会
教頭	地歴公民	奥田 信二	松山中央高等学校
事務長	地歴公民	中田 修滋	長浜高等学校
教諭	国語	平塚 ゆかり	松山盲学校
講師	数学	相原 千尋	小松高等学校
講師	地歴公民	石川 明弥	松山西中等教育学校
講師	数学	越智 隼人	伯方高等学校
講師	理 科	田内 智也	宇和島南中等教育学校
再任用	保健体育	小牧 可奈	三崎高等学校
教諭	音楽	上野 裕司	今治北高等学校
教諭	英語	根占 貴世	今治東中等教育学校
非常勤講師	英語	伊藤 ちあき	今治西高等学校
非常勤講師	家庭科	三好 麻梨子	松山西中等教育学校
非常勤講師	家庭科	松田 かおる	
非常勤講師	家庭科	吉岡 由紀子	

★転出・退職の部

職名	教科等	氏名	転出先等
校長	数学	森岡 宏	北条高等学校
教頭	国語	渡邊 哲朗	
事務長	国語	山田 耕正	今治西高等学校
教諭	地歴公民	中川 さと子	宇和島南中等教育学校
講師	数学	河原 将太	三島高等学校
講師	理 科	松木 義明	西条高等学校
非常勤講師	保健体育	杉野 裕子	大洲高等学校
非常勤講師	保健体育	齋藤 正樹	内子高等学校
非常勤講師	音楽	竹宮 直孝	新居浜東高等学校
非常勤講師	英語	松浦 愛	吉田高等学校
非常勤講師	英語	井手 美由紀	今治北高等学校
非常勤講師	家庭科	石丸 友紀	松山西中等教育学校
非常勤講師	家庭科	大谷 麻由	みなら特別支援学校

株式会社 アート工藝社

代表取締役 上 沖 尚 史 (北高36回)

〒790-0066 松山市宮田町1284-4 TEL(089)945-1141

(株)松栄印刷所

代表取締役 森 孝 (北高25回)

松山市三番町7丁目9-2 ☎(089)941-3334(代)

母校の益々の発展を
我々も応援していきます。

松山市役所七星会



「坂の上の雲」のまち

一人でも多くの人を笑顔に
全国に誇れる、わがまち松山

体育部・文化部活動報告

第38回全国JOCジュニアオリンピックカップ 春季水泳競技大会

水泳 男子100m自由形 第1位
第40回全国高等学校総合文化祭囲碁部門愛媛県大会
棋道 第2位

愛媛県高等学校総合体育大会

剣道 女子団体 第3位
女子個人 第3位
柔道 女子個人78kg級 第3位
女子個人57kg級 第3位
ソフトボール 男子 第3位
水泳 男子総合 第2位

男子50m自由形 第1位
男子100m自由形 第1位
男子100mバタフライ 第2位
男子100m平泳ぎ 第1位
男子200m自由形 第1位
男子200m平泳ぎ 第1位
男子400m自由形 第1位
男子400mリレー 第1位
男子400mメドレーリレー 第1位
男子800mリレー 第1位
女子総合 第3位
女子100m自由形 第1位
女子200m自由形 第2位

卓球 男子団体 第2位
男子ダブルス 第2位

ダンス 創作ダンス 第2位
テニス 男子団体 第2位
女子団体 第3位

登山 団体女子 第1位
バレーボール 男子 第2位
ハンドボール 女子 第3位

陸上競技 男子総合 第3位
男子400m 第1位
男子400mハードル 第2位

男子4×400mリレー 第2位
男子800m 第2位
男子3000mSC(障害走) 第2位

男子棒高跳 第1位
女子100mハードル 第2位
女子走高跳 第1位

男子200m平泳ぎ 第1位
男子200mリレー 第2位
男子400mリレー 第2位

男子400mメドレーリレー 第1位
女子個人 第1位
女子個人 第3位

水泳 男子総合 第1位
男子50m自由形 第2位
男子100m自由形 第1位

男子100m背泳ぎ 第3位
男子200m自由形 第2位
男子200m平泳ぎ 第2位

男子400m自由形 第1位
男子100m自由形 第1位
男子100m背泳ぎ 第3位

男子200m自由形 第2位
男子200m平泳ぎ 第2位
男子400m自由形 第1位

男子400mフリーリレー 第1位
男子400mメドレーリレー 第1位
男子800mフリーリレー 第3位

女子100m自由形 第3位
テニス 女子団体 第3位
陸上競技 男子800m 第2位

男子3000mSC(障害走) 第1位
女子走高跳 第1位

愛媛のえひめ文化・スポーツ賞

水泳 第1位
陸上 第1位

第30回愛媛県高等学校総合文化祭テーマ
最優秀

平成28年度全国高等学校総合体育大会
第84回日本高等学校選手権水泳競技大会

水泳 男子100m自由形 第7位
男子100m自由形 第1位
男子200m自由形 第2位

男子200m平泳ぎ 第1位
男子200m自由形 第1位
男子200m平泳ぎ 第1位

第71回愛媛選手権大会
陸上競技 男子400m 第2位
男子3000mSC(障害走) 第2位

女子走高跳 第2位

国民体育大会 ハンドボール競技
少年男子 愛媛県選手選考会

ハンドボール 男子 第1位
愛媛県高等学校新人大会

剣道 男子団体 第2位
女子個人 第1位

柔道 女子団体 第3位
女子個人57kg級 第2位
女子個人78kg級 第2位

水泳 男子総合 第2位
男子100m自由形 第1位
男子100m背泳ぎ 第1位

男子100mバタフライ 第1位
男子100m平泳ぎ 第1位
男子200m背泳ぎ 第2位

男子200m平泳ぎ 第1位
男子200mリレー 第2位
男子400mリレー 第2位

男子400mメドレーリレー 第1位
女子100m自由形 第2位
女子100m平泳ぎ 第2位

女子200mリレー 第2位
男子400mメドレーリレー 第1位
女子100m自由形 第2位

女子100m平泳ぎ 第2位
女子200mリレー 第2位
男子400mメドレーリレー 第1位

女子100m自由形 第2位
女子100m平泳ぎ 第2位
女子200mリレー 第2位

男子400mメドレーリレー 第1位
女子100m自由形 第2位
女子100m平泳ぎ 第2位

女子200mリレー 第2位
男子400mメドレーリレー 第1位
女子100m自由形 第2位

女子100m平泳ぎ 第2位
女子200mリレー 第2位
男子400mメドレーリレー 第1位

女子100m自由形 第2位
女子100m平泳ぎ 第2位
女子200mリレー 第2位

男子400mメドレーリレー 第1位
女子100m自由形 第2位
女子100m平泳ぎ 第2位

男子トラック 第2位
男子800m 第1位
男子3000mSC(障害走) 第1位

男子3000mSC(障害走) 第2位
男子5000mW(競歩) 第2位
男子ハンマー投 第2位

男子棒高跳 第1位
女子400mリレー 第2位
女子100mハードル 第1位

女子三段跳 第1位
女子走幅跳 第1位
女子七種競技 第2位

第71回国民体育大会
剣道 少年女子 第2位
陸上 少年男子800m 第3位

少年女子B100mハードル 第3位
水泳 少年男子A自由形50m 第8位
少年男子A自由形100m 第5位

愛媛県高等学校野球連盟応援優秀校
応援 愛媛県立松山北高等学校

JOCジュニアオリンピックカップ
第10回日本ユース陸上競技選手権大会

陸上 男子800m 優勝
平成27年度愛媛県卓球選手権大会

卓球 男子ジュニア 第1位
第18回四国高等学校新人陸上競技選手権大会

陸上競技 男子800m 第1位
男子3000mSC(障害走) 第1位
男子3000mSC(障害走) 第2位

男子5000mW(競歩) 第3位
女子100mハードル 第2位
女子三段跳 第3位

女子走幅跳 第1位
第95回全国高校サッカー選手権大会愛媛県大会

サッカー 優勝
最優秀選手 得点王
ベストイレブン

第69回全日本バレーボール高等学校選手権大会
愛媛県代表決定戦

バレーボール 男子 第3位
第30回愛媛県高等学校総合文化祭囲碁部門

棋道 男子個人 第2位
女子個人 第2位
第30回愛媛県高等学校総合文化祭

コーラス マーチングバンド・バントワング部門 優秀
税に関する五七五

松山地区租税教育推進協議会会長賞
第50回子規顕彰松山市小中高校生俳句大会

特選



◆住所：愛媛県松山市番町 3 丁目 5-10
◆TEL：089-921-8241 ◆FAX：089-948-1116
◆営業時間：7：00～21：00 ◆休日：なし
◆Mail：ts_arrow@yahoo.co.jp
日陽館三道場
●〒790-0812 松山市松前町 3 丁目 3-6
●TEL：089-945-5273 ●駐車場あり
お酒1本からでも配達いたします。愛媛の地酒を力を入れております。

「野球が好きだ！」
松山北高野球部OB会
北辰会
— ほくんかい —

母校の今後益々の発展を
お祈り申し上げます。

県警では若い力を待っています。

愛媛県警察 北斗会一同



平成 27 年 度 決 算 報 告

(単位：円)

収入決算額	2,834,234	支出決算額	2,583,805	差引残額	250,429
-------	-----------	-------	-----------	------	---------

(次年度へ繰越)

収入

科 目		本年度予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	摘 要
繰 越 金		709,995	709,995	0	前年度から繰越
入 会 金		1,070,000	1,059,000	- 11,000	1,000 円
会 費		1,000,000	711,490	- 288,510	年会費
雑 収 入		651,005	353,749	- 297,256	
内 訳	北 斗 広 告 料	400,000	327,130	- 72,870	北斗だより広告料
	記念誌等売上	250,000	6,500	- 243,500	記念誌、名簿売上ほか
	預 金 利 息 等	1,005	20,119	19,114	預金利息ほか
合 計		3,431,000	2,834,234	- 596,766	

支出

科 目	本年度予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	備 考
転 退 職 記 念	100,000	90,000	10,000	転退職者記念品料
慶 弔 費	30,000	43,322	- 13,322	生花代
通 信 費	500,000	397,394	102,606	北斗だより等発送費、郵送料
印 刷 費	400,000	367,200	32,800	北斗だより、封筒外印刷代
会 議 費	1,100,000	969,469	130,531	支部総会旅費外
総 会 費	200,000	256,620	- 56,620	総会補助
事 務 費	100,000	6,120	93,880	事務経費
部 活 動 等 振 興 費	600,000	172,800	427,200	全国大会出場等補助
雑 費	20,000	0	20,000	消耗品
賛 助 金	260,000	260,000	0	北斗奨学会へ
予 備 費	121,000	20,880	100,120	追録名簿代補助等
合 計	3,431,000	2,583,805	847,195	

祝 おめでとう
ございます

平成28年度春の叙勲
瑞宝単光章社会福祉功勞
鳥生 弘二様
(北高2回)

元民生・児童委員
瑞宝双光章
国土交通行政事務功勞
村上 奎様
(北高14回)

元四国運輸局整備部長
平成28年度秋の叙勲
旭日中綬章酒類業振興功勞
篠原 成行様
(北高13回)

現日本酒造組合中央会会長
北高67回(平成28年卒)
理事
◎印は常任理事

◎1組 小川 大貴
◎2組 山地 智之
◎3組 武智 翔
◎4組 中屋 佑馬
◎5組 芳野 祐季
◎6組 大河 美帆
◎7組 小倉 加帆
◎8組 大森 奏穂
◎9組 西岡 飛竜

松山市農業協同組合
松山市三番町8丁目325-1

松山北高等学校
第34回卒業生

母校松山北高等学校の
さらなる発展を祈ります

愛媛県庁七星会

えがお
愛のくに 愛顔あふれる愛媛県



来年度の同窓会総会について



来年度の同窓会総会は、平成29年6月10日(土)17:00より、ひめぎんホール(県民文化会館)で行います。同窓生の皆様お誘い合わせの上、御参加ください。

チケット販売は、同回の理事の方々に問い合わせただくか、直接北高へ問い合わせてください。
〇八九一九二五―二一六一
17:00〓同窓会総会 17:30〓懇親会

平成28年度
会務状況

平成28年

4月9日(土) 役員会

5月7日(土) 常任理事・理事会

6月11日(土) 同窓会総会

6月25日(土) 近畿支部総会

10月1日(土) 関東支部総会

10月21日(金) 北斗だより編集委員会

11月27日(日) 中部支部総会

平成29年(予定)

2月10日(金) 北斗だより第38号発行

2月28日(火) 同窓会入会式

3月1日(水) 卒業式

北高19回卒業生招待

平成27年度
会務報告

平成27年

4月11日(土) 役員会

5月9日(土) 常任理事・理事会

6月13日(土) 同窓会総会

6月27日(土) 近畿支部総会

10月10日(土) 関東支部総会

10月23日(金) 北斗だより編集委員会

11月29日(日) 中部支部総会

平成28年(予定)

2月12日(金) 北斗だより第37号発行

2月29日(月) 同窓会入会式

3月1日(火) 卒業式

3月20日(日) 九州支部総会

北高18回卒業生招待

同窓会年会費の納入について

毎年、年会費をお納めいただき、ありがとうございます。皆様からお納めいただいた年会費は、同窓会活動の他、在校生の部活動費などさまざまなものに活用させていただきます。来年度以降も、ご協力の程よろしくお願いいたします。同封いたしました振込用紙で振り込んでいただくか、直接学校へお納めいただければと思います。なお、振込用紙には卒業年または卒業回のいずれかを記入してください。

振込先 徳島 〇16601915567

松山北高同窓会

事務局だより

向春の候、同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年度も滞りなく同窓会活動を進めることができ、安堵いたしますと共に、皆様のご協力に感謝を致します。

さて、約五〇年間、学びの舎として利用して参りました第二教棟が、老朽化に伴い取り壊され、新校舎を建築することとなりました。第二教棟には、普通教室の他に、物理実験室・地学教室・化学実験室などの理科教室、食物教室・被服教室などの家庭科教室、十数年前に造られた情報教室がありました。また、4階の踊り場には、放送部の部室があります。皆様には、その時々北高生の思い出の場となってきた第二教棟に、いま一度思いを馳せていただければ幸いです。

「苦勞様。お世話になりました。」

未来の北高生の歴史が刻まれるであろう、平成三〇年三月完成予定の新校舎完成が待ち遠しいというもう一つの思いも持ちつつ、理科教室の引越作業に日々追われております。

来年度も、どうぞよろしく願っています。

事務局

〒790-0826 愛媛県松山市文京町4番地1
愛媛県立松山北高等学校内
TEL 089-925-2161 FAX 089-927-2964

松山北高等学校
同窓会役員一同

明星印刷工業(株)

代表取締役 武智 彰 (北高10回)

松山市土居田町500番地 TEL 971-7111

愛媛県立松山北高等学校同窓会

会長 関谷 勝嗣 (北高7回)

事務所 松山市三番町6丁目4番5号 電話(089)946-2166

同期会報告

22期卒業
45周年同期会石田 治
(北高22回)

真夏の8月13日、全日空ホテルに同期の仲間115名が集いました。5名の恩師の皆様も、お元気なお姿で出席して頂きました。

平成3年に卒業20周年を開催してから早くも25年が経ち、皆さん気持ちは若いのですが、還暦も過ぎて、

風貌が変化を遂げております。しかし、仲間に会えば、直ぐに北高時代にタイムスリップです。

私の挨拶で始まり、サッカー部OBの杉浦久夫君の乾杯の音頭で宴会突入です。まずは、賞品を用意してのジャンケン大会で童心に返り大いに盛り上がりました。続いて、5名の先生方のお言葉を頂戴し、次は、のど自慢と思っていました。高島御民先生の校歌「澄みたる瞳」のハーモニカ演奏が始まりました。学生時代には何度も聞かされていましたが、ご高齢になられても、さすがに素晴らしい演奏でした。岸尾寿先生、松本三郎先生、他5名の皆さんの「のど自慢」の後、野球部、サッカー部、柔道部、剣道部、ハンドボール部の部活メンバーが登壇し、秘密のエピソードを披露してくれました(大爆笑)。宴も終盤になり、松本先生と白石恒二君が壇上に上がり、全員で校歌「澄みたる瞳」を熱唱。最後は、代表理事の田上早苗さんが再会を誓って閉めてくれました。

次回の再会は、卒業50周年で招待される、4年後の母校北高の卒業式です。私

はPTA会長、同窓会副会長の立場で、何度も母校北高の卒業式に出席させて頂きましたが、東京オリンピックの年に母校北高に集う同期の仲間達も、北豫中学、城北高女、北高の3本の校旗が入場する厳粛な卒業式に臨んで、感動する事でしょう。「文武心」の校訓が脈々と受け継がれている生徒達を見て、誇りに思う事でしよう。4年後の再会が楽しみです。高齢者になっている大勢の同期の仲間達と出席致します。母校の益々の発展を願います。

66期卒業生
同窓会報告熊 千里
(北高66回)

平成29年1月8日、国際ホテルに於いて第66期生成人記念同窓会を開催し、総勢297名が集結しました。

また卒業から早2年を迎え、同期に一生に一度の成人式を迎えることとなりました。宴会は同窓生を代表して、宮本亮平くん、谷口耕亮くん、佐藤あすみさんによる

近況報告から始まり、在学当時の学年主任であった森先生からご挨拶をいただき

開宴いたしました。その後のフリートークの時間では、それぞれが思い出話に花を咲かせたり、写真を撮ったりして楽しい時間を過ごしました。久しぶりに再会した友人の姿は、二年前とは少し違い大人びていました。しかし、あどけない笑顔は当時と全く変わっていません、安心してました。同窓会の途中には、小笠原宏樹くんとは大松純平くんによる余興が行われ、会場は笑いの渦に包まれました。

高校時代、青春を共にした仲間たちは、やはり特別でした。放課後汗をかきながら、同じ目標に向かい頑張った部活動や、みんなで試行錯誤しながら団結した体育大会、志望校合格に向けて頑張った受験勉強など、みんなで話をしていると、当時に戻ったような気持ちになり懐かしさがこみ上げてきました。

今回こうして66期生が一挙に集まり、思い出話をするということで、改めて二十歳になるという自覚や責任を感じました。

そして、このように盛大な同窓会を開催できたことを嬉しく思います。開催するにあたってサポートして



くださった国際ホテルのスタッフの方々、毎年写真を撮影してくださっているまづばら写真館の皆様、お忙しい中会場に足を運んでくださった恩師の先生方、協力してくれた各クラスの幹事みんな、そして20年間元気に育ててくれた両親、本当にありがとうございます。

これからも66期生がそれぞれの場所で活躍できるように、頑張ります。